

# 大津企業景況調査報告書

(第65回)

平成26年 4月～ 6月期 実績

平成26年 7月～ 9月期 見通し

大津商工会議所

# 大津企業景況調査について

(平成26年4月～6月期)

## 1. 調査方法

大津商工会議所会員企業 100 社に F A X 方式による調査

## 2. 調査企業

産 業 別	調査対象企業数	有効回答企業数	回 収 率
建 設 業	20社	14社	70.0%
製 造 業	10社	8社	80.0%
卸 売 業	10社	8社	80.0%
小 売 業	30社	23社	76.6%
サービス業	30社	23社	76.6%
合 計	100社	76社	76.0%

※ 今回、調査対象企業の入替えを行った。内容は、建設業1社、製造業2社、小売業10社、サービス業5社の計18社である。

## 3. 調査期間

調査対象期間は平成26年4月～6月とし、調査時点は平成26年6月2日とした。

## 4. 調査データについて

調査の結果を示す指数として DI 指数を採用した。DI 指数とは Diffusion Index (景気動向指数)の略で、各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた数値である。

「業況」、「売上高」、「採算(経常利益)」、「従業員」の DI 指数は、前年同期との比較である。

「資金繰り」、「資金借り入れの難易度」の DI 指数は、3 ヶ月前との比較である。

「取引の問合せ」、「採算(経常利益)の水準」の DI 指数は、過去比較でなく水準を聞いたものである。

## 景況感は落ち込み小幅、先行きは慎重

平成 26 年 4 月～6 月期の大津企業景況調査の結果がまとまった。調査結果を示す指数として DI 指数（景気動向指数）を採用している。DI 指数は実数値などの上昇率を示すものでなく、強気、弱気などの経営者マインドの相対的な広がりの意味する。

### 全体

景況は、全体の業況判断DI（前年同期比）が▲9 と前四半期から 19 ポイント悪化した。消費増税による駆け込み需要の反動減や増税による原材料や燃料価格の上昇がDI を押し下げたが、前四半期に想定していた▲21 よりも落ち込みは小幅だった。ただし、人員不足が建設業、サービス業等で続いている。業種別では、卸売業、小売業、サービス業は悪化した。建設業、製造業は±0 となった。

先行きは、業況判断DI が▲8 とほぼ横ばいを予想し慎重である。業種別では、卸売業、小売業は消費増税の影響が緩和して回復するとみているが、製造業は資材価格の上昇もあり、建設業、サービス業は人員不足の影響もあってやや悪化を見込んでおり、業種間に温度差がある。

#### □ 業況判断DI（前年同期比）は、大幅に悪化するも前四半期の想定より少

「前年同期比でみた業況判断 DI(全体)」（「好転」－「悪化」）は、▲9 と前四半期から 19 ポイント悪化した。消費増税による駆け込み需要の反動減や増税による原材料や燃料価格の上昇から一旦はDI を押し下げたが、前四半期に想定していた▲21 よりも悪化幅は少なかった。業種別では、建設業、製造業が堅調であるが、その他は悪化した。

#### □ 売上DI（前年同期比）は減少。卸売業が大幅減少したが、建設業、製造業は堅調

「前年同期比でみた売上 DI(全体)」（「増加」－「減少」）は、前四半期の+6 から今四半期▲9 で減少した。業種別にみると、卸売業が大幅に減少したがこれは消費増税による駆け込み需要の反動減とみられる。建設業、製造業は堅調である。

#### □ 採算DI（前年同期比）は6四半期ぶりに悪化。卸売業が大幅に悪化

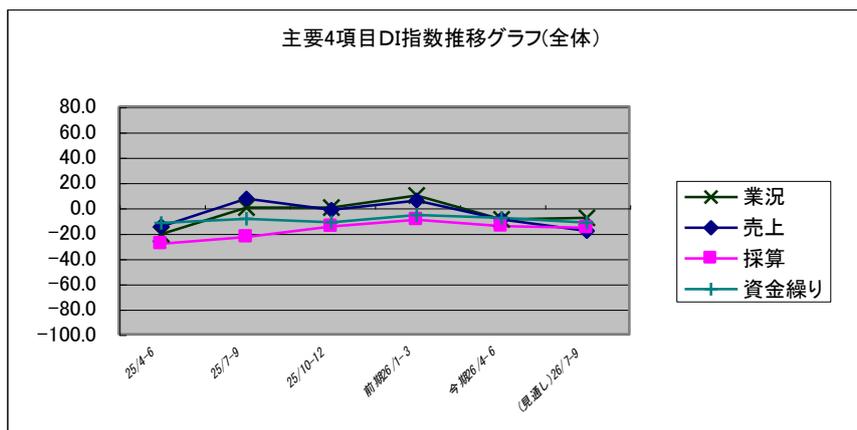
「前年同期比でみた採算（経常利益）DI(全体)」（「好転」－「悪化」）は、前四半期▲10 から今四半期▲15 と6四半期ぶりに悪化した。業種別にみると、卸売業が大幅に悪化している。採算水準は小売業を除き比較的高水準を維持している。

#### □ 資金繰りDI（3ヵ月前比）はやや悪化。卸売業、サービス業が悪化。

「3ヵ月前比でみた資金繰り DI(全体)」（「好転」－「悪化」）は、前四半期の▲6 から今四半期▲8 にやや悪化した。業種別にみると、卸売業、サービス業が悪化した。

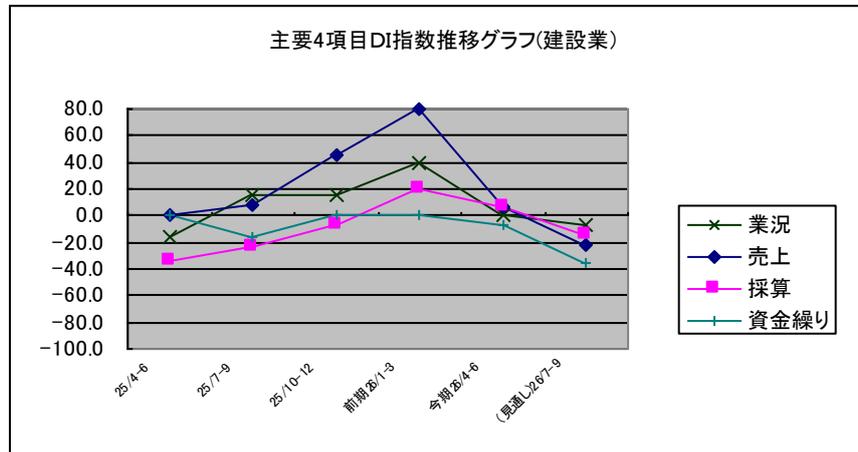
#### □ 従業員DI（前年同期比）は人員不足が続く。サービス業で顕著

「前年同期比でみた従業員 DI(全体)」（「不足」－「過剰」）は、前四半期の+19 が今期+15 と人員不足が続いている。業種別にみると、特にサービス業で顕著で、前四半期まで人員不足が顕著だった建設業はやや緩和した。



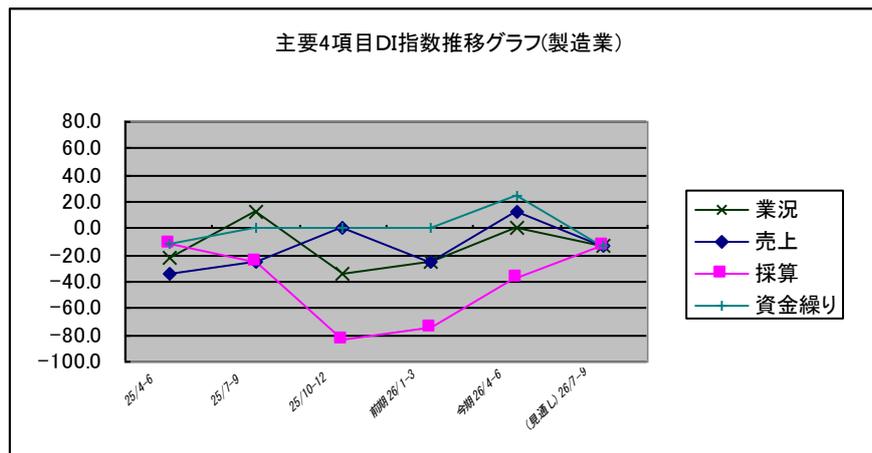
## 建設業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期+40 から今四半期も±0 と一服した。個別指標をみると「売上」が前四半期の+80 から今四半期+7 と増加幅が縮小し、かつ「採算」も好転幅が縮小して好転にブレーキがかかっている。これは公共工事や民間工事も堅調にあるものの、資材価格の上昇や人手不足が続いていることから、受注に制約が出ているためとみられる。



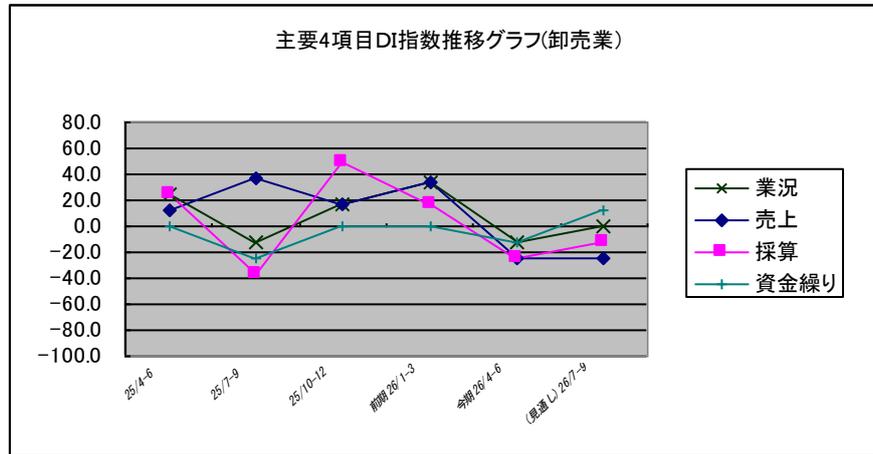
## 製造業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期▲25 から今四半期は±0 と改善した。個別指標をみると「売上」は前四半期の▲25 から今四半期+13 と増加し、「採算」も前四半期の▲75 から今四半期▲38 と改善して「採算水準」も黒字企業が増えている。「人員」は前々四半期から引き続き±0(過不足なし)である。



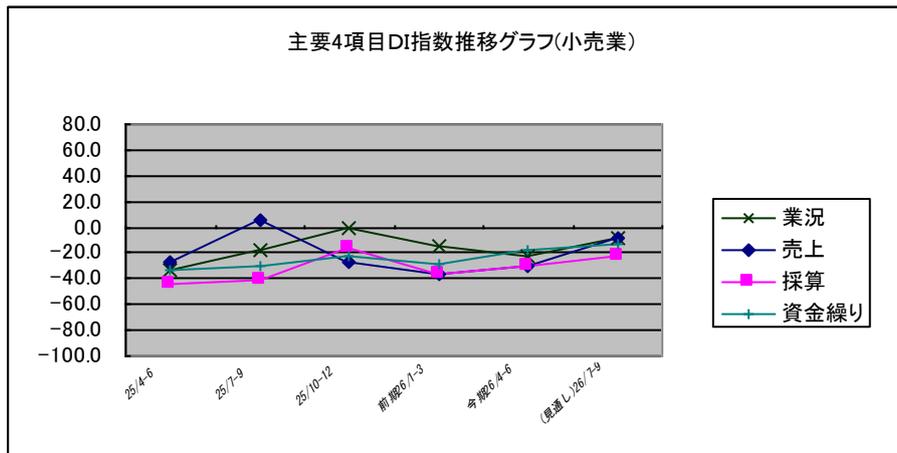
## 卸売業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期の+33 から今四半期は▲13 と大幅に悪化した。個別指標をみると「売上」は前四半期の+33 から今四半期は▲25 と大幅に減少し、「問い合わせ」も前四半期の±0 から今四半期は▲50 と大幅に減少した。消費増税前の駆け込み受注の反動減が現れている。



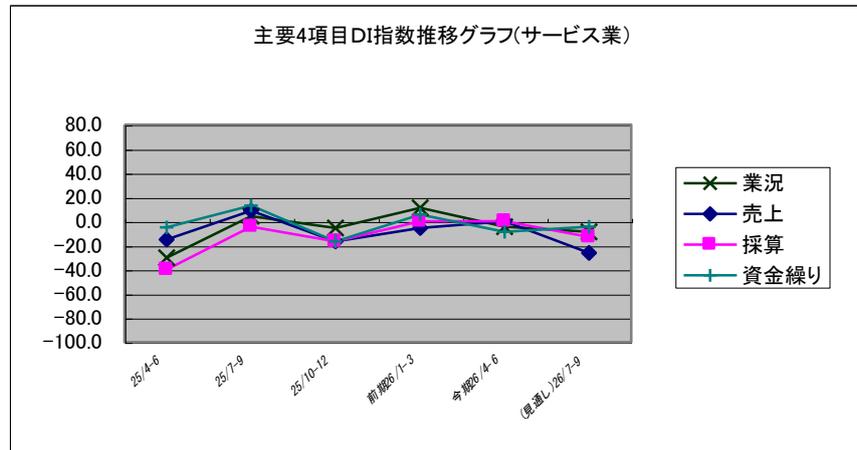
## 小売業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期の▲14 から今四半期は▲22 とさらに悪化した。個別指標をみると「売上」は前四半期の▲36 から今四半期▲30 と減少が続き、「採算」も前四半期の▲36 から今四半期▲30 と悪化が続いており、「人員」も不足している。消費増税後の消費の落ち込みと、経費の上昇が採算を圧迫していること等によるものとみられる。



## サービス業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期の+11 から今四半期は▲4 と悪化した。個別指標をみると「売上」は前年並みに改善したが、「資金繰り」が悪化し、「従業員」は人員不足がさらに顕著になっている。業種によっては専門職の確保が困難なため受注増加に制約が出ているところもある。



来四半期（3ヵ月後）の「業況」DIは、今四半期の▲9から▲8とほぼ横ばいを見込んでいる。個別指標をみると「売上」が減少し、「資金繰り」が悪化する見通しで、「取引の問合せ」はやや改善するとみている。

業種別にみると、卸売業、小売業が改善を見込んでいるが、建設業、製造業、サービス業とも悪化を見込んでいる。全般に消費増税の影響や、資材価格の上昇及び経費の増加等から、慎重な見方をしているものとみられる。

3ヵ月後の設備投資については、設備投資計画があると回答した企業の割合は全体で前四半期とほぼ同じく22%であった。業種別にみると、製造業、卸売業が最も高く25%、他は大体21%程度であった。投資企業の投資内容の割合は、「更新投資」が50%で最も多く、「合理化・省力化投資」が25%あった。投資方針は、「景気により見直す」とする企業が71%ある。まだ設備投資計画の水準は低く、生産力増加投資はさらに少ない。消費増税の影響が不透明であり、資材価格の上昇、経費の増加の中で、企業経営者の慎重な姿勢が窺われる。

(MBA・中小企業診断士 田中清行)

## (今の経済情勢に対する意見)

今の経済情勢に対する意見を寄せた企業は5社であった。

- ・ガソリン、電気料金の値上げが吸収できなくなる。(卸売業)
- ・むずかしい事は分かりませんが、失業保険や生活保護のお金を出しすぎと思います。求人しても人は来てくれません。給料ばかり上昇して、企業側はどうなるのですか。(小売業)
- ・消費者ニーズの多様化と変化への対応は、自分自身の消費行動からも激しく変化していくと感じる。「合わせていく」ことも大切だが、「ここにしかない」価値を提供していく事がキーポイントと思います。(小売業)
- ・「御縁」を頂きながら一歩ずつ進んでいる状況。客先でアベノミクスを実感する事はいまだない。(サービス業)
- ・経営状況は好転してきているが、このような状況がいつまで続くのか、又は、今のうちに事業規模を縮小して身軽になっておいた方がいいのか少し考えている。(サービス業)

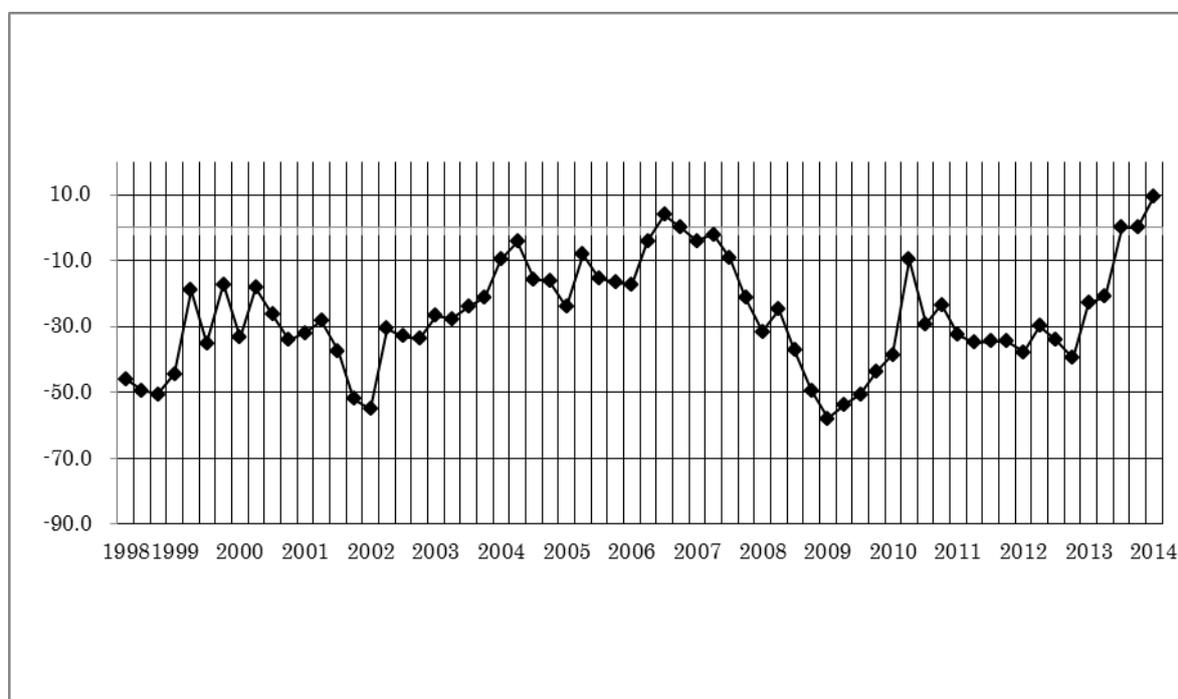
## DI 指数一覧表

	業 況		売 上 高		採 算 (経常利益)	
	4-6 月期 動 向	7-9 月期 見 通 し	4-6 月期 動 向	7-9 月期 見 通 し	4-6 月期 動 向	7-9 月期 見 通 し
全 体	▲9.2	▲7.9	▲9.2	▲18.4	▲14.5	▲15.8
建 設 業	0.0	▲7.1	7.1	▲21.4	7.1	▲14.3
製 造 業	0.0	▲12.5	12.5	▲12.5	▲37.5	▲12.5
卸 売 業	▲12.5	0.0	▲25.0	▲25.0	▲25.0	▲12.5
小 売 業	▲21.7	▲8.7	▲30.4	▲8.7	▲30.4	▲21.7
サービス業	▲4.3	▲8.7	0.0	▲26.1	0.0	▲13.0
	3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較	

	採算 (経常利益) の水準		取引の問い合わせ		従 業 員	
	4-6 月期 動 向	7-9 月期 見 通 し	4-6 月期 動 向	7-9 月期 見 通 し	4-6 月期 動 向	7-9 月期 見 通 し
全 体	13.2	14.5	▲15.8	▲5.3	14.5	15.8
建 設 業	35.7	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1
製 造 業	25.0	37.5	▲12.5	0.0	0.0	0.0
卸 売 業	37.5	50.0	▲50.0	▲12.5	0.0	0.0
小 売 業	▲13.0	0.0	▲21.7	▲13.0	13.0	17.4
サービス業	13.0	17.4	▲8.7	0.0	30.4	30.4
	3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較	

	資金繰り		長期資金借入難易度		短期資金借入難易度	
	4-6月期 動向	7-9月期 見通し	4-6月期 動向	7-9月期 見通し	4-6月期 動向	7-9月期 見通し
全体	▲7.9	▲11.8	▲1.3	▲3.9	1.3	▲3.9
建設業	▲7.1	▲35.7	▲7.1	▲14.3	▲7.1	▲7.1
製造業	25.0	▲12.5	25.0	25.0	12.5	12.5
卸売業	▲12.5	12.5	0.0	▲12.5	0.0	▲12.5
小売業	▲17.4	▲13.0	▲4.3	▲4.3	0.0	▲4.3
サービス業	▲8.7	▲4.3	▲4.3	▲4.3	4.3	▲4.3
	3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較	

本調査開始（1998年 第二四半期）以降 業況DI指数推移グラフ（全体）



※縦目盛り軸は、全業種の業況DI指数を表しています。横目盛り軸は、調査年を西暦で表しています。

## 大津商工会議所

〒520-0806

滋賀県大津市打出浜 2 番 1 号

コラボしが 21 9 階

TEL : 0 7 7 - 5 1 1 - 1 5 0 0

FAX : 0 7 7 - 5 2 6 - 0 7 9 5

URL <http://www.otsucci.or.jp/>